

令和6年3月期 業務実績報告書（経営総務課）

一般事項

1 水道料金調定関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 計画累計	D 前年度同月累計	E 対計画比較	F 対前年比較
1 調定件数	件	29,975	362,879	364,200	364,650	△ 1,321	△ 1,771
2 調定量	m ³	555,544	7,397,626	7,481,000	7,545,154	△ 83,374	△ 147,528
3 調定料金(税抜)	円	173,205,381	2,122,281,595	2,123,600,000	2,032,446,745	△ 1,318,405	89,834,850
4 口振加入件数	件	24,613	298,236	—	299,881	—	△ 1,645

2 下水道使用料調定関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 計画累計	D 前年度同月累計	E 対計画比較	F 対前年比較
5 調定件数	件	19,115	229,034	230,360	227,072	△ 1,326	1,962
6 調定量	m ³	352,786	4,574,053	4,588,800	4,665,200	△ 14,747	△ 91,147
7 調定料金(税抜)	円	66,144,144	786,991,498	796,796,000	741,721,655	△ 9,804,502	45,269,843

3 給水業務関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対前年比較(B-C)
8 給水人口	人	73,993	—	75,365	△ 1,372
9 給水件数	件	30,006	—	30,114	△ 108
10 開栓処理件数	件	380	2,713	3,032	△ 319
11 閉栓処理件数	件	234	2,821	3,069	△ 248
12 給水工事設計審査	件	41	515	498	17
13 給水工事竣工検査	件	29	605	742	△ 137
14 経年メーター交換	件	6	4,544	4,151	393
15 メーター口径変更	件	4	40	64	△ 24
16 督促状発送数	件	1,413	16,423	16,249	174
17 月末停止件数	件	111	—	105	6

4 排水設備業務関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対前年比較(B-C)
18 排水設備工事確認申請	件	17	299	352	△ 53
19 排水設備工事完了検査	件	22	311	365	△ 54

5 水道料金徴収関係

項目	A 当月末未収額	B 収納率	C 前年同月未収額	D 収納率	B-D
20 当年度分	201,709,956円	91.36%	181,019,620円	91.90%	△0.54%
21 過年度分	2,756,437円	98.50%	2,993,895円	98.37%	0.13%
22 計	204,466,393円	-	184,013,515円	-	-

6 下水道使用料徴収関係

項目	A 当月末未収額	B 収納率	C 前年同月未収額	D 収納率	B-D
23 当年度分	91,969,348円	89.38%	75,971,303円	90.69%	△1.31%
24 過年度分	529,319円	99.31%	487,589円	99.26%	0.05%
25 計	92,498,667円	-	76,458,892円	-	-

7 受益者分(負)担金徴収関係

項目	A 当月末未収額	B 収納率	C 前年同月未収額	D 収納率	B-D
26 当年度分	567,800円	99.02%	464,500円	98.78%	0.24%
27 過年度分	846,300円	51.41%	1,277,100円	28.71%	22.70%
28 計	1,414,100円	-	1,741,600円	-	-

登米市 水道・下水道事業キャラクター



スイちゃん ジョーくん 水守(みちる)さん

特記事項

1. 3月期の経営状況

(1) 予算執行状況等について

・水道事業

ア 収益的収支

当期の給水収益は190,526千円(税込)で、前月期に比べて6,565千円の減、対前年同月比では19,793千円の増となっています。営業収益は190,936千円、営業外収益は長期前受金戻入及び退職給付引当金戻入益など315,093千円を執行しました。当期の営業費用は減価償却費や資産減耗費など1,401,132千円、営業外費用は、企業債利息として47,002千円、特別損失として臨時損失を50千円を執行しました。

イ 資本的収支

当期の収入は、工事完成に伴う企業債の借入や補助金など553,059千円の執行となりました。支出は、建設改良費として工事請負費や調査設計費など489,665千円、企業債償還金として244,944千円、補助金等返還金として3,671千円を執行しました。

・下水道事業

ア 収益的収支

当期の下水道使用料は72,355千円(税込)で、前月期に比べて3,292千円の減、対前年同月比では9,692千円の増となっています。営業収益は73,164千円、営業外収益は、長期前受金戻入など1,235,499千円を執行しました。

当期の営業費用は減価償却費や委託料など2,342,394千円、営業外費用は企業債利息113,024千円を執行しました。

イ 資本的収支

当期の収入は、工事完成に伴う企業債等の借入や国庫補助金など945,195千円となりました。支出は、建設改良費として工事請負費や調査設計費など571,570千円、企業債償還金として741,679千円、基金積立金として12,879千円を執行しました。

2. 今月の出来事

(1) 登米市議会定例会 2月定期議会が閉会

3月4日(月)に開催された令和6年度登米市議会定例会2月定期議会において、「令和5年度水道事業会計補正予算(第3号)」及び「令和5年度下水道事業会計補正予算(第4号)」が原案のとおり可決しました。また、3月13日(水)には「令和6年度水道事業会計予算」及び「令和6年度下水道事業会計予算」が原案のとおり可決しました。

(2) 上下水道事業運営審議会が開催

3月22日(金)に開催された、第5回登米市上下水道事業運営審議会において、市長から諮問していた登米市地域水道ビジョンの改訂、登米市水道事業経営戦略の改訂及び登米市下水道事業施設統廃合計画について審議を行い、改訂及び計画の内容は妥当であると答申を受けました。

なお、付帯意見として「適切に進捗管理を行い、計画内容を検証しその結果を市民に周知すること」が付された答申書が提出されました。



【審議会の様子】

(3) 貯蔵品実地たな卸実査

3月25日(月)に令和5年度貯蔵品実地たな卸実査が行われました。市監査委員及び監査委員事務局職員が来庁し、水道事業緊急用資材管理業務を委託している登米市管工事業協同組合職員立会いのもと、資材倉庫等に保管してある貯蔵品について、保管状況や数量と関係書類との突合等が行われました。実査の結果、貯蔵品帳簿在庫と実地たな卸数量が一致していることの確認がなされました。

令和6年3月期 業務実績報告書（水道施設課・下水道施設課）

水道施設課

経営分析の状況

◎ 配水量の状況

(単位: m³)

項目	当月実績 (A)	実績累計 (B)	計画累計 (C)	前年累計 (D)	比較 (E)	
					対計画 (B)-(C)	対前年度 (B)-(D)
総取水量	812,829	9,782,268	9,320,050	9,930,619	462,218	△ 148,351
総配水量	758,573	9,126,618	8,759,450	9,283,929	367,168	△ 157,311
1 有効水量	596,045	7,854,723	7,894,330	8,179,062	△ 39,607	△ 324,339
(1) 有収水量	560,001	7,450,942	7,533,900	7,598,499	△ 82,958	△ 147,557
(2) 無収水量	36,044	403,781	360,430	580,563	43,351	△ 176,782
2 無効水量	162,528	1,271,895	865,120	1,104,867	406,775	167,028
(1) 漏水量	161,505	1,264,685	857,620	1,090,257	407,065	174,428
(2) その他無効水量	1,023	7,210	7,500	14,610	△ 290	△ 7,400
3 有収率	73.82%	81.64%	86.01%	81.85%	△4.37%	△0.21%

※ 当月期の最大配水量は、3月27日(水)に記録した【25,706m³】です。

◎ 主要な建設改良事業の状況

(単位: 件・千円)

主要な建設改良事業	予算 (A)		施工中 (B)		竣工 (C)		残額 (D) (A)-(B+C)	執行率
	件数	金額	件数	金額	件数	金額		
取水施設整備事業	1	13,924	0	0	1	13,914	10	99.9%
浄水施設整備事業	12	124,653	1	10,637	11	107,959	6,057	95.1%
配給水施設整備事業	42	1,033,662	10	509,916	32	350,003	173,743	83.2%

※ 件数及び金額は、工事十委託（事務費・人件費含む）の合計です。

特記事項

1 人工衛星を活用した水道管路の漏水調査業務の共同発注に関する基本合意を締結

3月19日(火)、宮城県庁にて、本市を含む県内11市町及び相馬地方広域水道企業団(福島県)と、人工衛星を活用した水道管路の漏水調査の共同発注に関する基本合意を締結しました。

人工衛星から地上にレーダーを照射し、反射したレーダーの違いから、地下水が水道水か否か判別し、それで得た画像と管路データをAIで解析し、漏水の疑いのある場所を地図上に示します。この人工衛星の調査結果から、路面音聴調査の調査範囲をしぼることで、漏水発見の精度を上げ、漏水調査の費用の縮減と期間の短縮につなげるものです。

2 令和5年度の漏水調査結果について

令和5年度の漏水調査については、169件 292.585m³/h(累計)の漏水を発見し修理を行いました。しかし、3月末での有収率が81.64%となり、前年度比較では0.21%低い結果となり、無効水量を抑制できなかったことが大きな要因と考えています。

令和6年度は、漏水量が多い地区を重点的に行うとともに、人工衛星の調査結果を基に、効率的な調査方法の検討を行い、漏水の早期発見に努めてまいります。



【基本合意締結式記念撮影の様子】

◎ 漏水調査結果について

漏水調査結果	施設	件数	漏水量 (m ³ /h)
付属施設	0	0.000	
給水装置	104	87.753	
計	169	292.585	

【漏水調査結果: 4月~3月(累計)】

※参考: 漏水量削減効果(金額換算)
約2,015,677円/日当たり
算定: R4年度給水原価 287.05円
累計漏水量 292.585m³/h
292.585m³/h×24h×287.05円

下水道施設課

経営分析の状況

◎ 処理水量の状況

(単位: m³)

項目	当月実績 (A)	実績累計 (B)	前年累計 (C)	比較 (D) 対前年度 (B)-(C)	備考
特定環境保全公共下水道	53,027	616,783	640,151	△ 23,368	3処理場
米谷・錦織処理区	10,807	128,595	131,091	△ 2,496	
豊里処理区	30,826	356,438	372,295	△ 15,857	
津山処理区	11,394	131,750	136,765	△ 5,015	
流域関連特定環境保全公共下水道(石越)	10,665	144,131	147,691	△ 3,560	
農業集落排水	111,752	1,318,095	1,341,376	△ 23,281	24処理場
迫地区	8,458	99,852	106,560	△ 6,708	
東和地区	2,793	33,349	34,413	△ 1,065	
中田地区	30,882	375,578	322,962	52,617	
豊里地区	1,969	23,103	23,231	△ 128	
米山地区	48,174	553,270	601,635	△ 48,364	
南方地区	19,476	232,944	252,576	△ 19,632	R5.4.1時点
浄化槽(特地・個排)	39,885	518,497	512,531	5,966	2,099基
合計	476,786	5,722,959	6,117,600	△ 394,641	

※流域関連特定環境保全公共下水道及び浄化槽については有収水量を記載。

◎ 主要な建設改良事業の状況

(単位: 件・千円)

主要な建設改良事業	予算 (A)		施工中 (B)		竣工 (C)		残額 (D) (A)-(B+C)	執行率
	件数	金額	件数	金額	件数	金額		
管路整備事業	9	411,396	5	194,038	4	103,894	113,464	72.4%
ポンプ施設整備事業	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
処理施設整備事業	68	300,620	1	120,000	67	127,921	52,699	82.5%

※金額は、工事十委託（事務費・人件費含む）の合計金額を記載。件数は、更新工事を除いた件数を記載。

特記事項

1 農業集落排水処理施設の流量計更新の実施

米山町の後小路地区農業集落排水処理施設の流量計の故障に伴い、更新工事を実施しました。流量計は平成5年度に設置し、翌年から約30年稼働していましたが、令和6年1月26日の点検時において、原水流量の計測結果の確認過程で異常値を示したため、更新を行ったものです。今後も適切な施設の維持管理に努めてまいります。



【作業の状況】

2 汚水管渠築造工事の完了

津山町横山地区及び中田町古館地区の汚水管渠築造工事が完了しました。この工事は、開削工法及び推進工法による管路(施工延長170.05m)、マンホール(3基)の整備を行ったもので、令和6年4月1日から供用を開始しています。

この工事により、未整備となっていた2地区の管渠整備が完了しました。来年度は、同地区の仮復旧の状態である道路舗装の本復旧を予定しています。下水道事業の早期完了に向け、引き続き汚水管渠の整備を行ってまいります。

○浄化槽整備事業受付状況
(3月末現在)

予定件数	受付件数	残件数
80	64	16

※令和5年度の申請受付は、12月中旬で終了しました。